

誤

正

説

畜産物と畜（処理）頭羽数及び生産量（明治10年～令和5年）

| 年次        | 豚          |           | 成牛        |          | 子牛    |          | 馬      |          | めん羊 |          | やぎ |          | 肉用若鶏（ブロイラー） |                     |          |                     | 鶏卵        |        |
|-----------|------------|-----------|-----------|----------|-------|----------|--------|----------|-----|----------|----|----------|-------------|---------------------|----------|---------------------|-----------|--------|
|           | 頭数         | 1) 枝肉生産量  | 頭数        | 1) 枝肉生産量 | 頭数    | 1) 枝肉生産量 | 頭数     | 1) 枝肉生産量 | 頭数  | 1) 枝肉生産量 | 頭数 | 1) 枝肉生産量 | 羽数          |                     | 処理重量     |                     | 3) 生産量    | 出荷量    |
|           |            |           |           |          |       |          |        |          |     |          |    |          | 全ての食鳥処理場    | 年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場 | 全ての食鳥処理場 | 年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場 |           |        |
|           | 頭          | kg        | 頭         | kg       | 頭     | kg       | 頭      | kg       | 頭   | kg       | 頭  | kg       | 千羽          | 千羽                  | t        | t                   | 千個        | t      |
| 令和元年（143） | 16,318,552 | 1,278,803 | 1,038,678 | 470,363  | 4,415 | 484      | 10,300 | 4,103    | …   | …        | …  | …        | …           | 715,656             | …        | 2,143,064           | 2,639,733 | …（143） |
| 2（144）    | 16,688,638 | 1,305,953 | 1,047,459 | 477,059  | 4,409 | 467      | 10,291 | 4,025    | …   | …        | …  | …        | …           | 728,009             | …        | 2,173,562           | 2,632,882 | …（144） |
| 3（145）    | 16,835,709 | 1,318,165 | 1,050,787 | 477,172  | 4,288 | 462      | 11,367 | 4,551    | …   | …        | …  | …        | …           | 735,530             | …        | 2,225,558           | 2,574,255 | …（145） |
| 4（146）    | 16,577,133 | 1,293,409 | 1,082,158 | 490,694  | 5,387 | 572      | 11,198 | 4,874    | …   | …        | …  | …        | …           | 737,217             | …        | 2,224,140           | 2,596,725 | …（146） |
| 5（147）    | 16,406,981 | 1,293,835 | 1,098,455 | 501,019  | 6,068 | 566      | 10,098 | 4,406    | …   | …        | …  | …        | …           | 745,636             | …        | 2,249,259           | 2,437,773 | …（147） |

資料：明治10年～昭和49年は『農林省統計表』、昭和49年～平成2年は『食肉流通統計』及び『鶏卵食鳥流通統計』、平成3年以降は『畜産物流通統計』  
注：1 昭和15年までの歌謡は、都道府県～市町村を通じた表式調査による。昭和16～23年は統計調査部が都道府県衛生部からの報告を取りまとめたものによる。昭和24～29年は厚生省が都道府県の管内と係についての調査報告を取りまとめたものによる。昭和40年～平成14年は統計情報部、平成15年以降は統計部「食肉流通調査」及び「食鳥流通調査」の成果による。  
ただし、鶏卵については、昭和15年までは調査対象とした飼養者の生産数量、昭和16～23年は農家、その他の鳥獣団体の月別販売数量、昭和24及び25年は調査を欠き、昭和26～40年は統計情報部「鶏卵生産調査」、昭和41年～平成14年は統計情報部、平成15年以降は統計部「鶏卵流通調査」の成果による。  
2 明治37年以前のやぎは、めん羊を含み、明治16及び17年はやぎのみである。  
3 昭和15年以前の鶏卵は、前年7月からその年の6月までの分であり、昭和26年は5月から12月までの8か月間の歌謡である。  
4 大正11年は、震災により神奈川県の歌謡が不明のため、統計値を用いて補正したものである。  
5 平成26年以前の肉用若鶏（ブロイラー）は、全国全ての食鳥処理場を対象に調査した結果であり、平成27年以降は食鳥の年間処理羽数が30万羽を超える食鳥処理場を対象に調査した結果である。  
6 昭和40年より市内生産量は、毎月市内卸売市場調査から算出した1階当たり市内産量を都道府県別と畜産数に乘じて換算した月別の都道府県別市内産量を年合計したものである。  
7 令和3年より鶏卵の生産量には、採卵農鶏農家における自家消費量を含まない。  
1) の昭和40年以降の単位は、t である。  
2) は、年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場を対象に、新たに補正した結果である。  
3) の昭和16年～25年までの単位は、kg である。  
4) の昭和26年～40年までの単位は、千個 である。  
5) の昭和41年以降の単位は、t である。

正

畜産物と畜（処理）頭羽数及び生産量（明治10年～令和5年）

| 年次        | 豚          |           | 成牛        |          | 子牛    |          | 馬      |          | めん羊 |          | やぎ |          | 肉用若鶏（ブロイラー） |                     |          |                     | 鶏卵        |        |
|-----------|------------|-----------|-----------|----------|-------|----------|--------|----------|-----|----------|----|----------|-------------|---------------------|----------|---------------------|-----------|--------|
|           | 頭数         | 1) 枝肉生産量  | 頭数        | 1) 枝肉生産量 | 頭数    | 1) 枝肉生産量 | 頭数     | 1) 枝肉生産量 | 頭数  | 1) 枝肉生産量 | 頭数 | 1) 枝肉生産量 | 羽数          |                     | 処理重量     |                     | 3) 生産量    | 出荷量    |
|           |            |           |           |          |       |          |        |          |     |          |    |          | 全ての食鳥処理場    | 年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場 | 全ての食鳥処理場 | 年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場 |           |        |
|           | 頭          | kg        | 頭         | kg       | 頭     | kg       | 頭      | kg       | 頭   | kg       | 頭  | kg       | 千羽          | 千羽                  | t        | t                   | 千個        | t      |
| 令和元年（143） | 16,318,552 | 1,278,803 | 1,038,678 | 470,363  | 4,415 | 484      | 10,300 | 4,103    | …   | …        | …  | …        | …           | 715,656             | …        | 2,143,064           | 2,639,733 | …（143） |
| 2（144）    | 16,688,638 | 1,305,953 | 1,047,459 | 477,059  | 4,409 | 467      | 10,291 | 4,025    | …   | …        | …  | …        | …           | 728,009             | …        | 2,173,562           | 2,632,882 | …（144） |
| 3（145）    | 16,835,709 | 1,318,165 | 1,050,787 | 477,172  | 4,288 | 462      | 11,367 | 4,551    | …   | …        | …  | …        | …           | 735,530             | …        | 2,225,558           | 2,574,255 | …（145） |
| 4（146）    | 16,577,133 | 1,293,409 | 1,082,158 | 490,694  | 5,387 | 572      | 11,198 | 4,874    | …   | …        | …  | …        | …           | 737,217             | …        | 2,224,140           | 2,585,987 | …（146） |
| 5（147）    | 16,406,981 | 1,293,835 | 1,098,455 | 501,019  | 6,068 | 566      | 10,098 | 4,406    | …   | …        | …  | …        | …           | 745,636             | …        | 2,249,259           | 2,426,940 | …（147） |

資料：明治10年～昭和49年は『農林省統計表』、昭和49年～平成2年は『食肉流通統計』及び『鶏卵食鳥流通統計』、平成3年以降は『畜産物流通統計』  
注：1 昭和15年までの歌謡は、都道府県～市町村を通じた表式調査による。昭和16～23年は統計調査部が都道府県衛生部からの報告を取りまとめたものによる。昭和24～29年は厚生省が都道府県の管内と係についての調査報告を取りまとめたものによる。昭和40年～平成14年は統計情報部、平成15年以降は統計部「食肉流通調査」及び「食鳥流通調査」の成果による。  
ただし、鶏卵については、昭和15年までは調査対象とした飼養者の生産数量、昭和16～23年は農家、その他の鳥獣団体の月別販売数量、昭和24及び25年は調査を欠き、昭和26～40年は統計情報部「鶏卵生産調査」、昭和41年～平成14年は統計情報部、平成15年以降は統計部「鶏卵流通調査」の成果による。  
2 明治37年以前のやぎは、めん羊を含み、明治16及び17年はやぎのみである。  
3 昭和15年以前の鶏卵は、前年7月からその年の6月までの分であり、昭和26年は5月から12月までの8か月間の歌謡である。  
4 大正11年は、震災により神奈川県の歌謡が不明のため、統計値を用いて補正したものである。  
5 平成26年以前の肉用若鶏（ブロイラー）は、全国全ての食鳥処理場を対象に調査した結果であり、平成27年以降は食鳥の年間処理羽数が30万羽を超える食鳥処理場を対象に調査した結果である。  
6 昭和40年より市内生産量は、毎月市内卸売市場調査から算出した1階当たり市内産量を都道府県別と畜産数に乘じて換算した月別の都道府県別市内産量を年合計したものである。  
7 令和3年より鶏卵の生産量には、採卵農鶏農家における自家消費量を含まない。  
1) の昭和40年以降の単位は、t である。  
2) は、年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場を対象に、新たに補正した結果である。  
3) の昭和16年～25年までの単位は、kg である。  
4) の昭和26年～40年までの単位は、千個 である。  
5) の昭和41年以降の単位は、t である。